



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月1日

上場会社名 株式会社ダイセキ 上場取引所 東・名

コード番号 9793 URL https://www.daiseki.co.jp

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山本 哲也

問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員企画管理本部長（氏名） 片瀬 秀樹（TEL）052（728）1155

半期報告書提出予定日 2024年10月11日 配当支払開始予定日 2024年10月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年2月期中間期 | 32,791 | △8.3 | 7,327 | △5.4 | 7,715 | △2.5 | 4,881 | 2.0 |
| 2024年2月期中間期 | 35,766 | 26.0 | 7,753 | 24.1 | 7,916 | 22.0 | 4,781 | 10.3 |

（注）包括利益 2025年2月期中間期 5,362百万円（0.5%） 2024年2月期中間期 5,334百万円（19.0%）

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| 2025年2月期中間期 | 円 銭 101.28 | 円 銭 — |
| 2024年2月期中間期 | 円 銭 97.16 | 円 銭 — |

（注）前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|----------------|---------------|-----------|
| 2025年2月期中間期 | 百万円 108,812 | 百万円 90,299 | % 74.5 |
| 2024年2月期 | 108,641 | 89,434 | 74.1 |

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 81,121百万円 2024年2月期 80,607百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|----------|--------------|----------|--------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2024年2月期 | 円 銭 — | 円 銭 30.00 | 円 銭 — | 円 銭 36.00 | 円 銭 66.00 |
| 2025年2月期 | — | 33.00 | — | — | — |
| 2025年2月期（予想） | — | — | — | 33.00 | 66.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|--------|------|--------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 65,600 | △5.2 | 14,000 | △5.5 | 14,100 | △8.7 | 8,700 | △8.0 | 180.88 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2025年2月期中間期 | 51,000,000株 | 2024年2月期 | 51,000,000株 |
| 2025年2月期中間期 | 2,996,965株 | 2024年2月期 | 2,216,552株 |
| 2025年2月期中間期 | 48,191,776株 | 2024年2月期中間期 | 49,207,483株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 中間決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 5 |
| 中間連結損益計算書 | 5 |
| 中間連結会計期間 | 5 |
| 中間連結包括利益計算書 | 6 |
| 中間連結会計期間 | 6 |
| (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |

1. 中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、インバウンド消費の拡大や雇用・所得環境の改善など、社会経済活動の正常化が進みましたが、政治情勢の変動による原油などのエネルギー価格や原材料価格の高騰、世界的な金融引締めに伴う影響や物価上昇の影響等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした経済情勢下、グループの主力事業である株式会社ダイセキの工場廃液を中心とした産業廃棄物の処理事業は、鉱工業生産指数は伸び悩む中、昨年度からの新規工場取引獲得によるシェアアップが奏功し、また、リサイクル燃料の出荷も好調に推移いたしました。これらにより、株式会社ダイセキでは、売上・利益共に過去最高を更新いたしました。

株式会社ダイセキ環境ソリューションが手掛ける土壌汚染処理関連事業は、前年に受注した大規模土壌処理案件が終息したことにより大幅な減収減益とはなりましたが、引続き高付加価値案件の受注拡大に向け、コンサル営業を積極的に展開し、また、資源リサイクル事業については石膏ボード搬入量が堅調に推移し、古紙・一般廃棄物処理量も堅調に推移いたしました。以上により、売上高、営業利益共に計画を上回りました。

株式会社ダイセキMCRが手掛ける鉛リサイクル事業は、円安による鉛相場の高止まりや、再生鉛の国内相場が堅調に推移したこと等により、売上、利益共に計画を上回りました。システム機工株式会社が手掛ける大型タンク等の洗浄事業は、高収益案件の完了が上期に集中し、売上、利益共に過去最高を更新しました。

当社グループは、今後の事業拡大のために、引続き人材確保ならびに教育を強化し、環境創造企業として「限られた資源を活かして使う『環境を通じ社会に貢献する環境創造企業』」というパーパスを重視した経営を行うことにより、地域社会から愛される企業を目指してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高32,791百万円(前年同期比8.3%減)、営業利益7,327百万円(同5.4%減)、経常利益7,715百万円(同2.5%減)、親会社株主に帰属する中間純利益4,881百万円(同2.0%増)となり、中間連結会計期間としては親会社株主に帰属する中間純利益は過去最高の業績となりました。

当社グループは、環境関連事業から構成される単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は108,812百万円と前連結会計年度末に比べ171百万円増加いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が1,371百万円、現金及び預金が515百万円、棚卸資産が358百万円、投資有価証券が187百万円それぞれ減少したものの、有形固定資産が2,592百万円増加したことによります。負債は18,513百万円と前連結会計年度末に比べ692百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1,415百万円、1年内返済予定の長期借入金が258百万円それぞれ増加したものの、短期借入金が1,400百万円、支払手形及び買掛金が606百万円、未払法人税等が398百万円それぞれ減少したことによります。純資産は90,299百万円と前連結会計年度末に比べ864百万円増加いたしました。これは主に自己株式の取得による自己株式の増加により2,646百万円減少したものの、利益獲得等により利益剰余金が3,112百万円、非支配株主持分が349百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月4日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年2月29日) | 当中間連結会計期間 (2024年8月31日) |
|----------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 29,162 | 28,646 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 11,030 | 9,658 |
| 電子記録債権 | 1,220 | 1,256 |
| 有価証券 | — | 500 |
| 棚卸資産 | 2,609 | 2,251 |
| その他 | 708 | 633 |
| 貸倒引当金 | △8 | △3 |
| 流動資産合計 | 44,722 | 42,943 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 14,682 | 14,573 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 6,790 | 7,053 |
| 土地 | 25,233 | 27,701 |
| 建設仮勘定 | 513 | 427 |
| その他(純額) | 694 | 749 |
| 有形固定資産合計 | 47,913 | 50,506 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 909 | 841 |
| 顧客関連資産 | 886 | 853 |
| その他 | 397 | 378 |
| 無形固定資産合計 | 2,193 | 2,073 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,081 | 7,894 |
| 長期預金 | 3,501 | 3,502 |
| 繰延税金資産 | 1,485 | 1,380 |
| その他 | 743 | 513 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 投資その他の資産合計 | 13,811 | 13,289 |
| 固定資産合計 | 63,918 | 65,869 |
| 資産合計 | 108,641 | 108,812 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年2月29日) | 当中間連結会計期間 (2024年8月31日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,944 | 3,337 |
| 電子記録債務 | 1,095 | 1,003 |
| 短期借入金 | 1,500 | 100 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 717 | 976 |
| 未払法人税等 | 2,938 | 2,539 |
| 賞与引当金 | 544 | 638 |
| その他 | 3,556 | 3,532 |
| 流動負債合計 | 14,296 | 12,128 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 12 | 8 |
| 長期借入金 | 2,798 | 4,213 |
| 役員退職慰労引当金 | 24 | 25 |
| 退職給付に係る負債 | 1,345 | 1,390 |
| 繰延税金負債 | 294 | 280 |
| その他 | 435 | 466 |
| 固定負債合計 | 4,909 | 6,384 |
| 負債合計 | 19,206 | 18,513 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,382 | 6,382 |
| 資本剰余金 | 7,071 | 7,071 |
| 利益剰余金 | 76,264 | 79,377 |
| 自己株式 | △9,103 | △11,750 |
| 株主資本合計 | 80,615 | 81,080 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9 | 50 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △17 | △8 |
| その他の包括利益累計額合計 | △8 | 41 |
| 非支配株主持分 | 8,827 | 9,177 |
| 純資産合計 | 89,434 | 90,299 |
| 負債純資産合計 | 108,641 | 108,812 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 35,766 | 32,791 |
| 売上原価 | 24,175 | 21,517 |
| 売上総利益 | 11,590 | 11,273 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,837 | 3,945 |
| 営業利益 | 7,753 | 7,327 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 36 | 36 |
| 受取配当金 | 18 | 16 |
| 受取保険金 | 7 | 2 |
| 受取補償金 | 83 | 15 |
| 補助金収入 | 2 | 289 |
| その他 | 30 | 50 |
| 営業外収益合計 | 179 | 412 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9 | 16 |
| 自己株式取得費用 | 1 | 1 |
| 支払手数料 | 4 | — |
| その他 | 0 | 7 |
| 営業外費用合計 | 16 | 24 |
| 経常利益 | 7,916 | 7,715 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 28 | 18 |
| 特別利益合計 | 28 | 18 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 17 | 34 |
| 固定資産圧縮損 | — | 19 |
| 減損損失 | 4 | — |
| 特別損失合計 | 21 | 53 |
| 税金等調整前中間純利益 | 7,923 | 7,680 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,537 | 2,367 |
| 法人税等調整額 | △11 | 47 |
| 法人税等合計 | 2,525 | 2,414 |
| 中間純利益 | 5,398 | 5,265 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 617 | 383 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 4,781 | 4,881 |

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日) |
|----------------|--|--|
| 中間純利益 | 5,398 | 5,265 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △67 | 87 |
| 退職給付に係る調整額 | 2 | 9 |
| その他の包括利益合計 | △64 | 97 |
| 中間包括利益 | 5,334 | 5,362 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 4,748 | 4,931 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 585 | 431 |

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年4月4日開催及び2024年4月22日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、普通株式800,000株を取得しました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が2,723百万円増加しております。